



凡例 Legend	
	港湾 Port
	空港 Airport
	高規格幹線道路(高速道)供用区間 Expressways (Existing)
	高規格幹線道路(高速道)事業化区間、 予定路線ほか Expressways (Planned or Under Consideration)
	主要な一般国道 Major National Roads

同心円の基点は水戸市

新たな発展へと躍進する「いばらきの港」

Ports of Ibaraki, Leaping to New Progress 向新的发展飞跃 茨城港口

より便利に、より速く、より環境にやさしく

Faster, more convenient and environmentally Friendly 更为便捷, 更为迅速、更为善待环境

いばらきの港は、常磐道や北関東道・圏央道など4本の高速道路と接続し、これまで京浜港に一極集中していた物流の流れを大きく変えていきます。

The ports of Ibaraki are connected to four major highways, including the Joban Expressway and Kita-Kanto Expressway, Central Expressway of Region Capital, substantially changing the flow of operation, which have been heavily concentrated in the Keihin Ports in Tokyo, Kawasaki, and Yokohama.

茨城の港口连接着常磐、北关东首都圏中央枢纽机动车道(通称: 圏央道)等4条高速公路, 至此过度集中在京浜港的物流发生巨大的变化。

京浜港エリアの交通渋滞を避けることで、物流の効率化の実現と地球環境にやさしい物流が期待できます。

In avoiding the traffic congestion of the Keihin area you can also enjoy environmentally friendly and even more efficient shipping.

これまでの、関東地域の港湾貨物は京浜地域に依存してきましたが、いばらきの港がその一翼を担う役割を果たすため、茨城港を北関東の玄関口「北側ゲートウェイ」、鹿島港を東関東内陸部の玄関口「東側ゲートウェイ」と位置づけています。

また、茨城県では、高速道路、空港、港湾などの交通ネットワークが充実しつつあり、加えて臨海部への企業立地が進んでいます。

いばらきの港を活用することにより、京浜地域の慢性的な交通渋滞を避けて、地球環境にやさしい物流を実現することが可能となります。



高速道路と直結する常陸那珂港区

北関東自動車道を利用すると、茨城港へのアクセスは格段に向上します。例えば、東京港(大井ふ頭)や横浜港(南本牧ふ頭)と茨城港(常陸那珂港区北ふ頭)を利用比較した場合、所要時間の短縮による物流の効率化が図れるとともにCO₂排出量の削減が期待できます。

■ 北関東の主要都市と各港湾(ふ頭)までの距離、時間の比較表(目安) ■ 常陸那珂港区へ利用をシフトした際の削減効果

		横浜港(南本牧ふ頭)		東京港(大井ふ頭)		茨城港(常陸那珂港)	
		距離(km)	時間(分)	距離(km)	時間(分)	距離(km)	時間(分)
茨城県	日立市	210	320	150	300	25	45
	水戸市	185	160	160	145	-	-
	つくば市	155	270	120	240	18	40
栃木県	宇都宮市	160	140	130	125	-	-
	真岡市	105	180	80	150	75	120
	小山市	100	100	80	90	80	70
群馬県	太田市	160	240	130	250	90	180
		170	150	150	145	90	80
		160	230	120	240	70	140

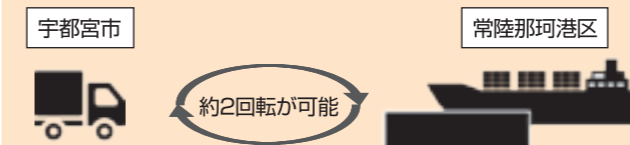
		横浜港(南本牧ふ頭)		東京港(大井ふ頭)	
		時間(分)	CO ₂ (%)	時間(分)	CO ₂ (%)
茨城県	日立市	275	81	255	79
	水戸市	-	-	-	-
	つくば市	230	89	200	87
栃木県	宇都宮市	60	45	30	35
	真岡市	30	32	20	15
	小山市	60	43	70	48
群馬県	太田市	90	50	65	45
		90	54	100	60
		80	59	80	53

*上段は一般道を利用した場合、下段は高速道路を積極的に利用した場合の値です。

一日複数回転が可能!

北関東主要都市から茨城港までは、一日複数回転が出来るためトラック輸送の効率化に貢献できます。

【例】宇都宮市から常陸那珂港区を利用した場合



【高速道路を利用した場合】
ドライバーの就業時間8時間
往復の陸上距離180km、走行速度(高速72.4km/h、一般道33.3km/h)
荷役時間等に関わる時間を考慮すると
⇒ 1回あたりの陸上輸送にかかる時間は約3時間40分

一日最大で回転回数は...8h/220min=2.2回転!!

CO₂の削減及びBCP対策におけるリスク分散が可能!

京浜港から茨城港に利用をシフトすることで、走行時間を短縮することが出来ることから陸上輸送から排出されるCO₂削減に貢献することが出来ます。また、貨物を一極集中させるより分散させることで、災害等があった場合などリスクを軽減させることが期待できます。

【例】宇都宮市から常陸那珂港区を利用した場合

